

校長室だより

# 春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

## どこかで春が

♪ どこかで春が 生まれてる ♪  
♪ どこかで水が 流れ出す ♪♪

梅の花が一輪また一輪と咲くたびに  
この歌を口ずさむ  
「どこかで春が生まれてる」

まだまだ寒さがこたえるけれど  
ここにも春が生まれてる  
そこにも春が生まれてる

## 2通のお便り



私には、この2月で87才になる母がいます。俳句と踊りを趣味として、お一人様を謳歌しています。

この年になると、腰を立てても曲げても腰が痛いものだから、どうせ痛いのなら、まっすぐ立てることにしていると、背筋のぴんと伸びた87才です。

先日、母の家に行くと、2通のお便りがテーブルの上に置かれていました。1通は、

孫に出した手紙で、住所に書いたアパートの部屋の番号が1つ違って戻ってきたものでした。もう1通は、郵便番号と母の名前だけで、住所が書かれていないのに届けられた年賀状でした。

部屋の番号が1つ違っただけで戻ってくる手紙もあれば、住所も書かずに届けられた葉書があると、おかしように笑っていました。

住所を書かずに届けられた年賀状を見ると、1枚の付箋紙が貼られ、そこに、番地が鉛筆で書かれています。

年末の郵便局は、年賀状の仕分けでとても忙しかったはずですが。そんな中、住所の書かれていない年賀状を見て、郵便番号だけをたよりに、母の住所を見つけてくれた方がいらっしゃるのです。

機械的に、何事も合理的に動いているように見えるこの世の中ですが、いやいや、この日本、なかなか捨てたものではありません。温かい心を持って仕事をしてくださっている方がいらっしゃるんです。



## 幸せの方程式

自分の幸せを小さく見積もって

他人の幸せを大きく見てしまう。  
他人の不幸はなぜか小さく見積もって  
君よりぼくの方が  
もっと大変なんだからと思ってしまう。  
これ、「不幸せの方程式」

小さな小さな幸せを  
大きく大きくしてくれて  
大きな大きな不幸せを  
小さな小さな出来事にしてくれる  
こんな「幸せの方程式」があるといい。

## 内緒の話

これも母の話です。

先日、老人会から、小学生に昔の遊びを教えに出てくれないかという依頼があったそうです。

暇だからお話を受けたものの、子どものころから不器用で、おはじきもお手玉もあやとりも上手にできたためしが無かったとのこと。しかも、大人になってこの年になるまで、お手玉もおはじきもろくに触ったことがなかったそうです。

不安なまま、事前の打ち合わせということで公民館に出かけてみると、

「ねえねえ、あやとりはどげんするとやったかないな」  
「コマの紐の巻き方はこれでよかったかないな」

お年寄りたちの昔の遊びの猛特訓があったのと、笑いながらの母の話でした。  
(^o^)

